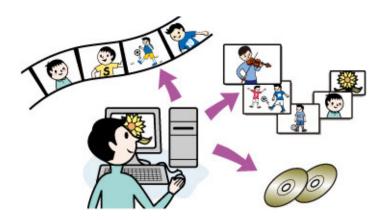
PMB オンラインヘルプ

PMBは、画像をパソコンに取り込んで見たり、いろいろな活用ができるソフトウェアです。PMB オンラインヘルプでは、このソフトウェアの基本的な使いかたからより進んだ使いかたまでを説明しています。よくあるご質問と回答もご覧いただけます。

ご注意

- PMB オンラインヘルプをご覧いただくには、パソコンがインターネットに接続されていることが必要です。
- お使いの機種によって表示される項目は異なります。

- PMB オンラインヘルプの記載内容は、お使いのPMBのバージョンや、設定により異なる場合があります。
- すでにPMBをお使いのときは、新たなカメラを接続すると、新しい機能を追加してPMBがアップデートされます。
- PMB オンラインヘルプの記載内容は、予告なく変更する場合があります。
- PMB使用時のパソコンの推奨環境につきましては、お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。

こんなことができます

PMBを使うと、主に以下のようなことができます。

[画像を取り込む](#)

カメラをパソコンにつないで、撮影した画像をパソコンに取り込めます。

[画像を見る](#)

画像を、撮影した日付ごとに管理でき、サムネイル表示から選んで見られます。

[画像を書き出す](#)

パソコンに保存した画像を、メディアやカメラに書き出せます。

ご注意

- PMBに取り込むことができた画像であっても、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

目的に合わせてソフトウェアを起動する

PMBランチャーを使うと、画像の取り込みやディスク作成など、目的に合わせて、PMBや他のさまざまなソフトウェアを起動したり、ウェブサイトを開いたりできます。

1. **[スタート]－[すべてのプログラム]－[PMB]－[PMB ランチャー]の順に選ぶ。**
   [PMB ランチャー]画面が表示されます。

2. **画面左側で項目を選び、ソフトウェアやウェブサイトのボタンをクリックする。**
   ソフトウェアやウェブサイトが起動します。

ヒント

- PMB ランチャー内のボタンをデスクトップにドラッグ＆ドロップすると、ショートカットが作成されます。

起動/終了する

起動する

PMBは、以下の方法で起動できます。

- ［スタート］－［すべてのプログラム］－［ PMB］の順に選ぶ。

終了する

PMBは、以下の方法で終了できます。

- ［ファイル］メニューから［終了］をクリックする。
- 画面右上の閉じるボタン［X］をクリックする。

画像を取り込む

カメラをパソコンにつないで、撮影した画像をパソコンに取り込みます。

1. **カメラの電源を入れ、USBケーブルでパソコンとつなぐ。**
   画像の取り込み画面が表示されます。
   取り込む機器、メディアの選択画面が表示された場合は、取り込み対象を選んでください。
   取り込み画面について詳しくは、取り込み画面の各部説明をご覧ください。
   電源はACアダプターの使用をおすすめします。ACアダプターがない場合は、十分に充電したバッテリーをご利用ください。
   カメラとパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

   ご注意

   - [ツール]メニューから[設定]−[取り込み]を選んで表示される画面の[機器を接続したときに PMB で取り込みを行う]にチェックがついていない場合は、取り込み画面は開きません。この場合は、PMBを起動し、[ファイル]メニューから[画像の取り込み]を選んでください。
   - Windows 7をお使いのときは、Device Stageの画面が起動することがあります。その場合は、Device Stageから取り込み画面を起動することもできます。

2. **[取り込み開始]をクリックする。**
   画像の取り込みが始まります。
   画像の取り込みが完了すると、PMBが起動して画像一覧画面が表示されます。

画像の取り込み方法を変更するには

画像の取り込み画面で[変更]をクリックして、取り込み方法を変更できます。

ヒント

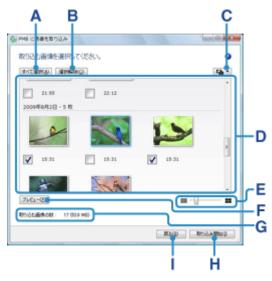
- [画像を選択して取り込む]を選んだ場合は、画像選択画面で取り込む画像を選んでから、取り込みを開始します。画像選択画面について詳しくは、画像選択画面の各部説明をご覧ください。
- [取り込んだ画像を機器、メディアから削除する]にチェックをつけると、画像を取り込んだあとに、取り込んだ画像がカメラから削除されます。

取り込み画面の各部説明

カメラをパソコンにつなぐと、PMBが起動して画像の取り込み画面が表示されます。

A	機器情報	接続しているカメラのモデル名、記憶領域の使用量/総容量、カメラが割り当てられているドライブ名を表示します。
B	取り込みの設定	取り込み方法、取り込む画像の数を表示します。[変更]をクリックすると、取り込み方法を設定できます。
C	取り込み先情報	取り込み先のフォルダーが表示されます。▼をクリックすると、過去に取り込んだ取り込み先の履歴、PMBに登録されているフォルダーをリストで表示します。 [参照]をクリックするとフォルダー選択画面が表示され、フォルダーを選んで取り込み先に設定できます。 [新しいフォルダーを作成して取り込む]にチェックをつけ、[フォルダー名]のテキストボックスにフォルダー名を入力すると、取り込み先に新しいフォルダーを作成して画像を取り込めます。
D	取り込み開始ボタン	取り込みを開始します。

画像選択画面の各部説明

画像の取り込み方法で[画像を選択して取り込む]を選ぶと、画像選択画面が表示され、取り込む画像を選べます。

A	すべて選択ボタン	すべての画像にチェックをつけます。
B	選択解除ボタン	画像につけられたチェックをすべて外します。
C	画像の絞り込みボタン	クリックして、[写真のみ表示]または[ビデオのみ表示]を選んで、画像を絞り込めます。
D	画像一覧	撮影された画像が、撮影日順に分かれて、サムネイル表示されます。 取り込みたい画像のチェックボックスをクリックして、チェックをつけます。
E	画像調整スライダー	スライダーを動かして、サムネイルのサイズを調整できます。
F	プレビューボタン	プレビュー画面を開いて、選択している画像を再生できます。
G	取り込む画像の数	取り込む画像の数を表示します。
H	取り込み開始ボタン	取り込みを開始します。
I	戻るボタン	取り込み画面に戻ります。

取り込み先フォルダーを変更する

カメラやメモリーカードからPMBに画像を取り込む際の取り込み先フォルダーを変更できます。

1. **メイン画面で、[ツール]メニューから[設定]を選ぶ。**
   設定画面が表示されます。
2. **[取り込み]を選び、[取り込み先]の[参照]をクリックする。**
   フォルダーの選択画面が表示されます。
3. **取り込み先にするフォルダーを選び、[OK]をクリックする。**

ワンタッチで画像をDVDディスクに保存する

ワンタッチ ディスクボタンを押すだけで、画像をかんたんにDVDディスクに保存できます。“ハンディカム”で撮影したデータのうち、まだ[ワンタッチ　ディスク]機能を使ってディスクに保存されていない画像を自動的に選んで保存します。画質は撮影したときの画質で保存されます。

ご注意

- 録画モードが[HD FX]または[HD PS]で撮影されたビデオはディスクに保存されません。また、録画モードが[HD FH]で撮影されたAVCHD 24p/25p形式の動画も保存されません。

1. **パソコンのDVDドライブに、空のDVDディスクを入れる。**
   以下の12cmディスクが使用できます。

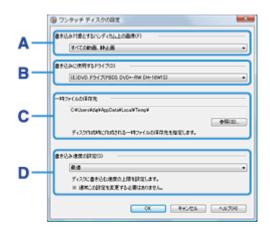
ディスクの種類	特徴
DVD−R DVD+R	● 書き換えできません。
DVD+R DL	● DVD+Rの記録層を2層化して、記録可能容量を増やした種類。 ● 書き換えできません。
DVD−RW DVD+RW	● 書き換えて再利用できます。

2. **“ハンディカム”の電源を入れ、USBケーブルでパソコンとつなぐ。**
   電源はACアダプターを使用してください。
   “ハンディカム”とパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

3. **ワンタッチ ディスクボタンを押す。**
   ボタンの位置は、付属の取扱説明書をご覧ください。
   パソコンの画面にディスクの認識中の画面が表示されます。
   ディスクが認識されると、ディスク作成が始まります。

ディスクへの書き込みが完了すると、自動的にパソコンのDVDドライブが開きます。

ヒント

- 記録するデータが1枚のディスクに収まらない場合は、画面の指示に従って新しいディスクを入れてください。

メモリーカードに記録された画像を保存するには

1. **「ワンタッチで画像をDVDディスクに保存する」の手順2のあと、“ハンディカム”に表示される[USB機能選択]画面で[USB接続]をタッチする。**

2. **[スタート]−[すべてのプログラム]−[PMB]−[PMB ランチャー]の順に選ぶ。**
   [PMB ランチャー]画面が表示されます。

3. **[ディスク作成]を選び、[ワンタッチ ディスク]をクリックする。**

ワンタッチ ディスクの設定を変更する

ワンタッチ ディスクで書き込みに使うドライブを変更したり、一時ファイルの保存先や書き込む速度を変更したりできます。

1. **[スタート]－[すべてのプログラム]－[PMB]－[PMB ランチャー]の順に選ぶ。**
   [PMB ランチャー]画面が表示されます。
2. **[ツール]を選び、[ワンタッチ ディスクの設定]をクリックする。**
   [ワンタッチ ディスクの設定]画面が表示されます。

A	[書き込み対象とするハンディカム上の画像]	書き込む画像の種類を選びます。
B	[書き込みに使用するドライブ]	書き込みに使うドライブを設定します。
C	[一時ファイルの保存先]	[参照]をクリックして表示される画面で、一時ファイルを保存するフォルダーを設定します。
D	[書き込み速度]	通常は[最適]を選んでください。書き込みがうまくいかない場合には、低い速度の値を選んで書き込みをしてください。

3. **設定が完了したら、[OK]をクリックする。**

ワンタッチ ディスクのヒント

- すでにこの機能でディスク作成した画像データは、2度目以降はディスクに保存されません。2度目以降に画像をディスクに保存するには、いったん画像をパソコンに取り込んでからディスクに保存してください。
- 画像の保存履歴は、パソコンのユーザーアカウントごとに保存されます。そのため、一度ディスクに保存した画像でも、異なるユーザーアカウントを使うと、再びディスクに保存されます。
- 複数枚のディスクに渡って画像を保存した場合は、写真は1枚目のディスクに保存されます。
- 5.1chサラウンド音声で録画したビデオは、5.1chサラウンド音声のままディスクに保存されます。
- 8cmディスクはお使いになれません。
- 新しいディスクを使用することをおすすめします。
- 記録済みのDVD-RW/+RWを入れた場合には、記録されたデータを消去するか選択するメッセージが表示されます。

ワンタッチ ディスクについてのご注意

- ディスク作成中は"ハンディカム"に振動を与えないでください。ディスク作成が中断することがあります。
- パソコンの他のUSB端子には何もつながないでください。
- ディスク作成が終わったら、標準(STD)画質のディスクはDVDプレーヤーで、ハイビジョン(HD)画質のAVCHD対応ディスクは"ハンディカム"に付属の再生ソフトウェア Player for AVCHDを使ってパソコンで再生できるか確かめてください。ディスクが正常に再生できないときは、画像をいったんパソコンに取り込んでから、ディスクに保存してください。
- 作成したディスクをコピーするには、"ハンディカム"に付属のディスク複製ソフトウェア Video Disc Copierを使用してください。
- この操作では、パソコンのハードディスクに画像データは保存されません。
- この操作では、"ハンディカム"のハードディスク、内蔵メモリー、メモリーカードの画像データは削除されません。
- 作成したディスクに記録された画像をパソコンで編集することはできません。パソコンで画像を編集したい場合は、パソコンに画像を取り込んでください。
- ディスク作成が異常終了した場合、複数枚のディスクに保存するときは、正常に書き込みが完了したディスクの最後のファイルまでが書き込み済みとなります。次にワンタッチ ディスク機能でディスクを作成するときは、まだディスクに書き込まれていないファイルから記録されます。1枚のディスクに保存するときは、すべてのファイルが改めて保存されます。
- 作成したハイビジョン(HD)画質のAVCHD対応ディスクを再生するとき、再生機器によっては、映像のつなぎ目が数秒間静止状態になります。
- この操作ではブルーレイディスクの作成はできません。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。粗悪な品質のディスクを使用した場合、正常に画像を保存できないことがあります。

画像を見る

パソコンに取り込んだ画像を、撮影した日付ごとに分類・表示するカレンダービュー、またはラベル、評価、登録したフォルダーごとに分類・表示するインデックスビューで見られます。

ご注意

- パソコンに保存されている画像をPMBで見られるようにするには、[ファイル]メニューから[フォルダーの登録]を選んで、画像を登録してください。詳しくはフォルダーを登録・解除するをご覧ください。

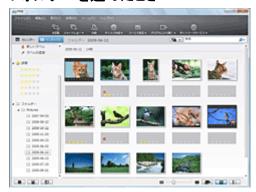
1. **メイン画面で、[カレンダー]または[インデックス]をクリックする。**

[カレンダー]をクリックしたときは、日付ツリーに画像のある年および月が一覧表示されます。
[インデックス]をクリックしたときは、ラベル、評価、登録されているフォルダーの一覧が表示されます。

2. **カレンダービューでは、見たい画像を撮影した年/月アイコンをクリックする。**
インデックスビューでは、見たい画像のラベル、評価、または見たいフォルダーをクリックする。

年/月アイコンをクリックしたときは、カレンダーが表示されます。カレンダーの日付には、その日に撮影された画像のサムネイルが表示され、日付をクリックすると撮影日ごとにサムネイルが一覧表示されます。
ラベルまたは評価をクリックしたときは、選択したラベル、評価の画像のサムネイルがフォルダーごとに一覧表示されます。フォルダーをクリックしたときは、フォルダー内の画像のサムネイルが一覧表示されます。

月アイコンを選んだとき

フォルダーを選んだとき

3. **大きく表示したい画像のサムネイルをダブルクリックする。**
プレビュー表示に切り替わり、選んだ画像が拡大表示されます。
ビデオを選んだときは、スライダーと再生操作のボタンが表示され、再生が始まります。

写真を選んだとき

ビデオを選んだとき

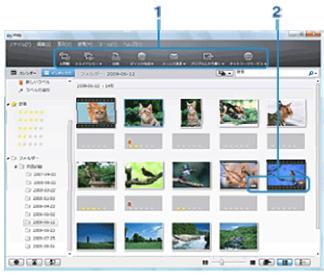
ヒント

- ファイル名を変更するには、以下の3つの方法があります。
  - サムネイルを選んで画面左下の をクリックし、表示されたプロパティー画面でファイル名をクリックする。
  - インデックスビューで画面右下の をクリックし、詳細表示に切り替えて、ファイル名をクリックする。
  - [ツール]メニューから[設定]－[画像の表示]を選んで表示される画面で、[画像情報]にチェックをつけて[OK]をクリックし、サムネイルの下に表示されたファイル名をクリックする。

メイン画面の各部説明

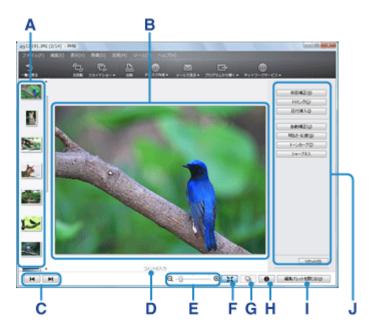
メイン画面上部のツールバーには、画像を操作する以下のボタンが表示されます。
撮影した画像がAVCHD形式のビデオなどの場合、サムネイルに画像の種類をあらわすアイコンが表示されます。

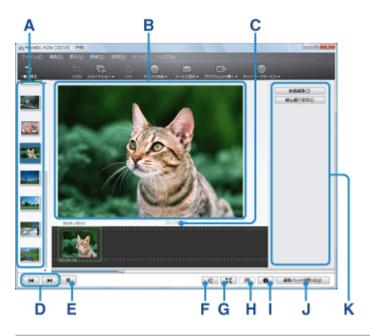
ご注意

- お使いの機種によっては、表示されない項目があります。

<table>
<tr><td>1</td><td>画像操作ボタン</td><td>画像に対して、以下の操作ができます。
<table>
<tr><td>左回転</td><td>選んだ写真を左回転します。</td></tr>
<tr><td>スライドショー</td><td>選んだ画像を全画面でスライドショー形式で再生します。</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>選んだ写真を印刷します。</td></tr>
<tr><td>ディスク作成</td><td>ディスクを作成します。</td></tr>
<tr><td>メールで送る</td><td>選んだ画像をメールに添付して送ります。</td></tr>
<tr><td>プログラムから開く</td><td>選んだ画像をプログラムを呼び出して表示します。</td></tr>
<tr><td>ネットワークサービス</td><td>ネットワークサービスに接続します。</td></tr>
</table>
ヒント
● [ツール]メニューから[ツールバーのカスタマイズ]を選ぶと、表示される画像操作ボタンを変更できます。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>サムネイルアイコン</td><td>
<table>
<tr><td>HD</td><td>ハイビジョン(HD)画質のビデオ</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

	編集済みのビデオ
	ボイスメモ付きの写真
	RAWデータ
	GPS位置情報付きの写真
	スイングマルチアングルの写真
	3Dスイングパノラマの写真/3D静止画 ご注意 ● 3Dスイングパノラマ/3D静止画は、PMB上では3D表示されず、通常の静止画と同様に扱われます。編集した場合は、静止画として保存・印刷されます。
	ハイライト再生を保存したビデオ
	連写グループの写真
	写真･ビデオが見つからないときに表示されます。この表示が必要なくなった場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]または[ツール]メニューの[データベースの再構築]を実行することで削除できます。
	写真･ビデオの表示ができないときに表示されます。

カレンダービュー/インデックスビュー

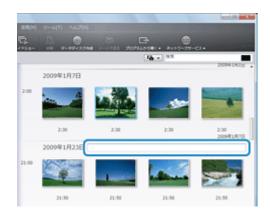
画面上部の検索ボックスで、表示する画像を絞り込んだり、画像を検索したりできます。
また、画面下部のボタンやスライダーで、画像の表示方法を切り換えたり、画像のプロパティーを表示したりできます。

A	表示切り替えボタン	カレンダービュー/インデックスビューを切り換えます。
B	解除ボタン	検索、絞り込みを解除します。
C	画像種別ボタン	クリックして、[ビデオのみ表示]、[写真のみ表示]、[RAW画像のみ表示]を選び、表示する画像の種類を絞り込めます。
D	検索ボックス	テキストを入力して、画像を検索できます。 をクリックすると、検索する条件を設定できます。
E	プロパティーボタン	選択している画像のプロパティーを表示します。
F	顔検索ボタン	顔検索画面を表示して、顔検索ができます。
G	マップビューボタン	マップビューを表示します。
H	画像調整スライダー	スライダーを動かして、サムネイルのサイズを調整できます。
I	展開表示ボタン	画像を展開表示します。再度クリックすると、展開表示を解除します。 展開表示にすると、ビデオを一定間隔ごとにサムネイルで表示します。また、高速連写した写真のグループを展開して表示します。
J	詳細表示/サムネイル表示ボタン(インデックスビューのみ)	をクリックすると詳細表示に切り替わります。 をクリックするとサムネイル表示に戻ります。

プレビュー表示

メイン画面でサムネイルをダブルクリックすると、プレビュー表示に切り替わります。
カレンダービュー/インデックスビューに戻るには、画面左上の をクリックしてください。

写真を選んだとき

A	サムネイル一覧	インデックスビューで表示していた画像のサムネイル、またはカレンダービューで選んだ日付の画像のサムネイルが一覧で表示されます。
B	プレビューエリア	選んだ画像が表示されます。
C	次/前の画像ボタン	表示する画像をサムネイル一覧の前後の画像に切り換えます。
D	コメント入力ボックス	クリックしてテキストを入力し、画像にコメントをつけられます。
E	プレビュー調整スライダー	スライダーを動かして、プレビューのサイズを調整できます。
F	ウィンドウサイズに合わせるボタン	クリックすると、ウィンドウサイズに合わせて写真を表示します。再度クリックすると、ウィンドウサイズに合わせた表示を解除します。
G	展開表示ボタン	プレビューエリアの下部に、高速連写した写真のグループを展開表示します。再度クリックすると、展開表示を解除します。
H	プロパティーボタン	選択している画像のプロパティーを表示します。
I	編集パレットを閉じる/開くボタン	編集パレットを閉じたり、開いたりします。
J	編集パレット	ボタンをクリックして、選択している画像を編集できます。

ビデオを選んだとき

A	サムネイル一覧	インデックスビューで表示していた画像のサムネイル、またはカレンダービューで選んだ日付の画像のサムネイルが一覧で表示されます。
B	プレビューエリア	選んだ画像が表示され、再生が始まります。
C	コメント入力ボックス	クリックしてテキストを入力し、画像にコメントをつけられます。
D	次/前の画像へボタン	表示する画像をサムネイル一覧の前後の画像に切り換えます。
E	再生/一時停止ボタン	► をクリックするとビデオを再生します。再生中に ⏸ をクリックすると一時停止します。
F	音量調節ボタン	をクリックすると、音量調節スライダーが表示され、音量を調節できます。[消音]にチェックをつけると、消音します。
G	ウィンドウサイズに合わせるボタン	クリックすると、ウィンドウサイズに合わせてビデオを表示します。 再度クリックすると、ウィンドウサイズに合わせた表示を解除します。
H	展開表示ボタン	プレビューエリアの下部に、ビデオを一定間隔ごとのサムネイルで展開表示します。再度クリックすると、展開表示を解除します。
I	プロパティーボタン	選択している画像のプロパティーを表示します。
J	編集パレットを閉じる/開くボタン	編集パレットを閉じたり、開いたりします。
K	編集パレット	ボタンをクリックして、選択している画像を編集できます。

カレンダーに日付タイトルを付ける

カレンダービューで、日付ごとにタイトルを付けられます。

1. メイン画面で、画面左上の[カレンダー]をクリックして日付ごとに表示する。

2. 日付の右側にマウスカーソルを置き、表示される[日付タイトルの入力]をクリックする。
   テキストボックスが表示されます。

3. タイトルを入力して「Enter」キーを押す。
   日付欄にタイトルが表示されます。

ヒント

- 入力した日付タイトルをクリックすると、タイトルを変更できます。
- メイン画面右上の検索ボックスで、日付タイトルから画像を絞り込んで表示させられます。

フォルダーを編集する

フォルダーを編集する

インデックスビューでフォルダーを右クリックすると、次のことができます。

- フォルダーの作成
- フォルダーの削除
- フォルダー名の変更

ご注意

- フォルダーを削除すると、フォルダー内の画像もすべて削除されます。

フォルダー間で画像を移動する

画像を別のフォルダーに移動できます。

メイン画面のインデックスビューで、画像をフォルダーにドラッグ&ドロップすると移動できます。
フォルダーごと移動するときは、移動したいフォルダーをドラッグ&ドロップします。

ツールバーのカスタマイズについて

ツールバーに表示される画像操作ボタンを変更できます。

1. **メイン画面で、[ツール]メニューから[ツールバーのカスタマイズ]を選ぶ。**
   [ツールバーのカスタマイズ]画面が表示されます。
   ツールバーを右クリックして[ツールバーのカスタマイズ]を選んでも、同じ画面が表示されます。

2. **表示するボタンを設定する。**

ヒント

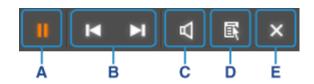
- [利用できるツール]からボタンを選び、 をクリックすると、ツールバーにボタンを追加できます。
- [現在のツール]からボタンを選び、 をクリックすると、ツールバーからボタンを削除できます。
- [現在のツール]でボタンを選び、[左へ]または[右へ]をクリックすると、ボタンを並べ替えられます。
- ボタンをドラッグ&ドロップしても、ボタンの追加、削除、並べ替えができます。
- [ツールバーのボタンにタイトルを表示する]のチェックを外すと、ボタンのタイトルを非表示にできます。
- [初期設定に戻す]をクリックすると、ツールバーのボタンが初期設定に戻ります。

3. **[OK]をクリックする。**
   ツールバーのボタンが変更されます。

スライドショーで再生する

好みの画像を選んで、全画面でスライドショー再生できます。
写真とビデオを組み合わせることもできます。

1. **メイン画面で、スライドショー再生したい画像を選ぶ。**

   ヒント

   - 画像を2つ以上選んだときは、選んだ画像だけでスライドショー再生します。
   - 画像を1つだけ選んだときは、インデックスビューの場合は、選んだ画像と同じフォルダーのすべての画像でスライドショー再生します。カレンダービューの場合は、選んだ画像と同じ撮影日のすべての画像でスライドショー再生します。

2. **画面上部の [スライドショー] をクリックする。**

   全画面でスライドショー再生が始まります。
   スライドショー再生を終了するには、再生画面をダブルクリックします。

再生を調節する

スライドショーで再生しているときにマウスを動かすと、再生を調節する設定バーが表示されます。

A	**再生コントロールボタン**	[一時停止] をクリックすると、スライドショーを一時停止します。[再生] をクリックすると、スライドショー再生を再開します。
B	**次/前の画像ボタン**	表示する画像を前後の画像に切り換えます。
C	**音量調節ボタン(ビデオ、ボイスメモの再生時のみ)**	[音量] をクリックすると、音量調節スライダーが表示され、音量を調節できます。[消音]にチェックをつけると、消音します。
D	**[メニュー] ボタン**	メニューが表示されます。 [スライドショーの切り替え間隔]で、画像を再生する間隔を選べます。 [画像サイズが小さい時は等倍で表示]にチェックをつけると、画像がウィンドウサイズより小さいときは、元の大きさで表示します。
E	**[×] ボタン**	スライドショー再生を終了します。 **ヒント** ● 以下の方法でも、スライドショー再生を終了することができます。 ○ 画面をダブルクリックする。 ○ 「Esc」キーを押す。 ○ 右クリックして表示されるメニューから[スライドショー終了]を選ぶ。

ご注意

- 設定バーは、一定時間マウスを動かさないと画面から消えます。再度表示するには、マウスを動かしてください。

ヒント

- ビデオの再生時には、スライダーが表示されます。スライドすることで再生位置を変更できます。

顔検索する

パソコンに取り込んだ画像から、同じ顔を含む画像を検索できます。

1. **メイン画面で、画面左上の[インデックス]をクリックし、顔検索したいフォルダーを選ぶ。**
   または、画面左上の[カレンダー]をクリックし、顔検索したい年、月を選ぶ。

2. **画面左下の をクリックする。**
   [顔検索]画面が表示され、選んだフォルダーまたは年、月の画像から検出された顔の部分のみが表示されます。

ご注意

- 顔画像を表示させるには、あらかじめ画像の解析が必要です。[ツール]―[未解析の画像をすべて解析]を選ぶと、パソコンに保存されている画像のうち、解析されていないものを自動的に選んで解析します。解析には時間がかかることがあります。

3. **[顔検索]画面で、検索したい顔画像を選ぶ。**
   メイン画面に、選んだフォルダーまたは年、月で同じ顔があると認識された画像のみが表示されます。
   選んだ顔と同じと認識された部分には、白い枠が表示されます。
   絞り込みをやめるには、メイン画面上部の[解除]をクリックします。

ヒント

- 写真もビデオも同様に顔の検出/検索ができます。
- 顔検索はすべての場合において精度を保証するものではありません。

マップビューを使う

画像を地図上に表示する

マップビューを使うと、位置情報を持つ画像の撮影位置を地図上に表示したり、位置情報を変更したりできます。
位置情報を持たない画像の場合、地図上で撮影位置を選び、位置情報をつけて保存することができます。

起動する

1. **メイン画面で、地図上に表示したい画像を選ぶ。**
2. **画面左下の をクリックする。**
   マップビューのメイン画面が表示されます。
   位置情報を持つ画像の場合、撮影位置が地図上に表示されます。
   位置情報を持たない画像の場合、撮影位置を決めるための地図が表示されます。

   メイン画面の各部名称と働きは次のとおりです。

地図及び航空写真はGoogle Mapsによって提供されています。

<table>
<tr><td>A</td><td>サムネイル一覧</td><td>選択されている画像のサムネイルが表示されます。
位置情報を持つ画像には が表示されます。 を他の画像にドラッグ&ドロップすると、位置情報をコピーできます。
サムネイルを右クリックすると、位置情報の変更や一覧からの削除ができます。</td></tr>
<tr><td>B</td><td>地図表示エリア</td><td>サムネイル一覧に表示されている位置情報を持つ画像の撮影位置を示すマークが、地図上に表示されます。
位置情報を持たない画像の場合、サムネイルをクリックすると撮影位置を決めるためのマークが地図上に表示されます。また、サムネイルを地図上にドラッグ&ドロップすると、ドロップした場所に撮影位置を決めるためのマークが表示されます。
地図上に表示されるマークは、以下の通りです。
<table>
<tr><td></td><td>位置情報を持つ画像の撮影位置を示しています。</td></tr>
<tr><td></td><td>方位情報を持つ画像の撮影位置、方位を示しています。</td></tr>
<tr><td></td><td>地図上でドラッグ&ドロップして、撮影位置を変更できます。方位編集中は、画像の撮影方位の目標になります。</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

	グループ化された画像を示しています。をクリックすると、グループに含まれる各画像のマークが表示されます。 一度に30枚以上の画像を追加した場合に、追加された画像の中で位置の近いものがグループ化されます。また、サムネイル一覧から複数の画像を選んで、地図上にドラッグ&ドロップした場合も、グループ化されます。

撮影位置を示すマークやサムネイル一覧で位置情報を持つ画像をクリックすると、その位置で撮影された画像がふき出しで表示されます。

画像の撮影位置を変更/決定するには

位置情報を持つ画像は、ふき出しで表示された画像の[プロパティー]タブをクリックして[位置編集]をクリックし、地図上の をドラッグ&ドロップします。
位置情報を持たない画像は、サムネイル一覧の画像をクリックするか、地図上にドラッグ&ドロップすると、地図上に表示できます。地図上の をドラッグ&ドロップして、撮影位置を決めます。

画像の方位を変更するには

方位情報を持つ画像は、ふき出しで表示された画像の[プロパティー]タブに[方位編集]ボタンが表示されます。[方位編集]をクリックすると、一時的に地図上の他の画像のマークは非表示になります。地図上の任意の場所をクリックして、画像の撮影方位を変更します。

ふき出しのビデオを再生するには

ふき出しのビデオをクリックすると再生が始まります。再生画面を閉じるには をクリックします。

ふき出しの写真を拡大するには

ふき出しの写真をクリックすると、写真を拡大して表示できます。拡大表示した写真をクリックすると、ふき出し表示に戻ります。

表示された地図は、マウス操作で表示位置を動かしたり、拡大・縮小できます。

C ボタン

撮影位置を変更した画像の位置情報を保存したり、サムネイル一覧に表示されている選択状態を保存できます。また、保存した選択状態を呼び出して表示したり、削除することもできます。

変更した位置情報や選択状態を保存するには

をクリックし、表示されるメニューから[マップビューの新規保存]、または[マップビューを上書き保存]を選びます。
[マップビューの新規保存]を選んだ場合、表示される画面の[マップビューの名称]に名前を入力し、[保存]をクリックします。

ヒント

- 選択状態は、[マイ ドキュメント]－[Sony PMB]－[MapView]に保存さ

		れます。 **保存した選択状態を表示するには** をクリックし、表示されるメニューから保存した選択状態の名前を選ぶと、サムネイル一覧と地図表示エリアに保存された選択状態が表示されます。 **保存した選択状態を削除するには** をクリックし、表示されるメニューから削除する選択状態を選びます。再度 をクリックし、[選択マップビューを削除]を選びます。 **ご注意** ● 保存できる選択状態の数は、255個までです。 ● 保存した選択状態を呼び出したときに画像が見つからない場合、サムネイル一覧に が表示されます。再度表示するには、PMBで地図上に表示する画像を選択し、マップビューを起動してください。
D	ボタン	クリックして表示されるメニューから、電子メールで画像を送ったり、Google Earth用のファイルを出力したりできます。
E	ボタン	クリックすると、マップビュー上の画像をスライドショーで再生します。

終了するには

マップビューのメイン画面右上の をクリックする。

電子メールで送る

メール送信用ソフトウェアを起動し、マップビューをメールに添付して送れます。

1. **メイン画面で、添付する画像を選ぶ。**
2. **画面左下の をクリックする。**
   マップビューのメイン画面が表示されます。

   ヒント
   - 画像に位置情報がない場合は、サムネイルをクリックして位置情報を設定できます。
3. **画面右下の をクリックして、[選択マップビューをメールで送る]を選ぶ。**
   電子メールに画像付きの地図ファイルが添付されます。

ご注意
- お使いの電子メールソフトウェアでMAPIが有効になっている必要があります。
  MAPIについて詳しくは、電子メールソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

Google Earth向けのファイルを出力する

画像をGoogle Earth上に表示するためのファイルを出力できます。

1. **メイン画面で、出力する画像を選ぶ。**
2. **画面左下の をクリックする。**
   マップビューのメイン画面が表示されます。

ご注意

- 画像に関連したルート情報または位置情報がない場合は、Google Earth用のファイルを出力できません。サムネイルをクリックして位置情報を設定してください。

3. **画面右下の をクリックして、[Google Earth用のファイルを出力する]を選ぶ。**
   フォルダーの選択画面が表示されます。

4. **出力先のフォルダーを選び、[OK]をクリックする。**
   Google Earth用のファイルが出力されます。

ご注意

- ー[Google Earth用のファイルを出力する]で出力したファイルをご覧になるには、Google Earthのインストールが必要です。
- お使いのGoogle Earthのバージョンによっては、正常に表示されない場合があります。

マップビューのヒント

- 起動したマップビューのメイン画面上にPMBから画像をドラッグ&ドロップすると、マップビューに画像を追加して表示できます。
- ルートを表示するには、GPS Image TrackerでGPSログファイルを取り込む必要があります。
- ー[画像と関連したルートを表示]をクリックすると、画面左のサムネイル一覧に表示されている画像の撮影位置を撮影順にたどったルートが地図上に表示されます。*
- ー[日付を指定してルートを表示]をクリックして日付を選ぶと、選んだ日付に記録されたルートのみが地図上に表示されます。*
- ー[表示色設定]をクリックしてカラーパレットからお好きな色を選択すると、地図上に表示されるルートの表示色を変更できます。*
- 位置情報を削除するには、PMBの[編集]メニューから[位置情報の削除]を選んでください。
- GPS機能搭載の“ハンディカム”で撮影した動画の場合、動画ファイル自体に位置情報が残る場合があります。

* お使いのモデルによっては、これらの機能に対応していない場合があります。

画像を分類する

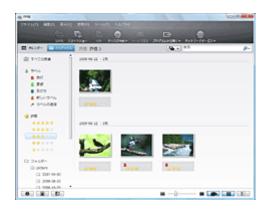
パソコンに取り込んだ画像に評価やラベルをつけることができます。

1. **メイン画面で、評価やラベルをつけたい画像を選ぶ。**

2. **画面左下の をクリックする。**
   選んだ画像のプロパティー画面が表示されます。

評価をつけるときは

Aにカーソルを置いてクリックし、 マークをつける。
 マークを全部消すときは、Aの左端にマウスカーソルを置き、表示される[X]をクリックする。

ラベルをつけるときは

Bからお好みのラベルのチェックボックスをクリックしてチェックをつける。
ラベルを外すときは、チェックを外す。

ヒント

- / をクリックして前後の画像に移動できます。
- (ラベルの追加)をクリックして新しいラベルを作れます。ラベルを削除するには、メイン画面のインデックスビューで削除したいラベルを選び、右クリックして[ラベルの削除]を選びます。

画像を絞り込んで表示するには

メイン画面のインデックスビューで、表示させたい項目を選ぶと、ラベルや評価ごとに画像を絞り込んで表示します。

画像を非表示にする

登録した画像を、メイン画面に表示しないように設定できます。

1. **メイン画面で、非表示にする画像を選ぶ。**
2. **[編集]メニューから[非表示に設定]を選ぶ。**
   選んだ画像が非表示に設定され、メイン画面から消えます。

画像の非表示を解除する

1. **[表示]メニューから[非表示画像を表示]を選ぶ。**
   [表示]メニューの[非表示画像を表示]にチェックが付き、非表示に設定された画像のサムネイルが、すべて表示されます。

   ヒント

   - 非表示に設定されたサムネイルは、半透明で表示されます。

2. **非表示設定を解除する画像を選ぶ。**
3. **[編集]メニューから[非表示を解除]を選ぶ。**
   選んだ画像の非表示設定が解除されます。

   ヒント

   - 非表示に設定されている画像を再び非表示状態にするには、[表示]メニューから[非表示画像を表示]を選び、[非表示画像を表示]に付いているチェックを外します。

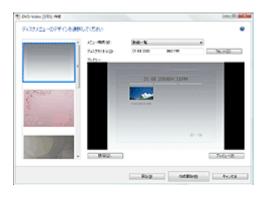
DVD-Video ディスクを作る

パソコンに取り込んだビデオにメニューをつけて、標準(STD)画質のDVDディスクを作成できます。

ご注意

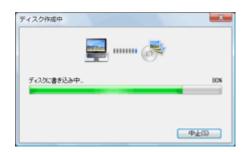
- AVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを選べますが、その場合は標準(STD)画質に変換するため、ディスク作成に時間がかかります。

1. **メイン画面で、ディスクに書き込むビデオを選ぶ。**

2. **画面上部の ディスク作成 をクリックして[DVD-Video (STD) 作成]を選ぶ。**
   ビデオの選択画面が表示されます。
   ディスクに書き込むビデオを確認してください。

ヒント

- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ビデオの選択画面にドラッグ＆ドロップします。
- ビデオの必要な部分だけを選んでディスクに書き込むこともできます。【詳細】
- [撮影日順に並べ替え]をクリックすると、ビデオが自動的に撮影日順に並び替わります。
- [設定]ボタンをクリックすると設定画面が表示され、ディスク初回再生時の動作や画質、写真の切り替え間隔などを設定できます。

3. **[次へ]をクリックする。**
   作成されるDVDディスクのメニューのイメージ画像が表示されます。

ヒント

- [メニュー構成]ドロップダウンリストをクリックすると、DVDメニューのタイトルの作成方法を選べます。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べます。
- [プレビュー]をクリックすると、作成されるDVDディスクの出来上がりイメージを確認できます。

4. **メニューを確認し、[作成開始]をクリックする。**
ディスクの作成が始まります。

ご注意

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。
- パソコンのDVDドライブでは書き込みに8cmディスクを使用することはできません。

DVD-Video ディスク作成の設定を変更する

標準(STD)画質のディスク作成のときに、ビデオの選択画面の[設定]をクリックして表示される画面で、DVD作成に必要な設定を変更できます。

[全般]	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所、ディスクに書き込むときの速度の設定を行います。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択します。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択します。 ディスクに書き込む速度を変更する場合は、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して書き込むか、書き込む前に毎回指定するかを選び、ラジオボタンをクリックします。初期設定では、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して、その速度で書き込む設定になっています。
[ディスク作成]	再生時の動作や、映像モード、画質の設定を行います。 [ディスク再生時の動作]:メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックします。 [DVDの映像モード]:"ハンディカム"の映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックします。(通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はありません) [DVDの画質]:AVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを変換してDVDに書き込むとき、高画質にするか標準にするかをドロップダウンリストから選択します。(MPEG-2形式のビデオは変換されません) [AVCHD形式ファイルの変換設定]:チェックをつけると、速度を優先してディスクを作成します。この場合、作成されるディスクの画質は下がります。 [オーディオモードの設定]:チェックをつけると、すべてのビデオの音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成します。この場合、ディスクの作成に時間がかかります。

AVCHD ディスクを作る

パソコンに取り込んだAVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを選んで、ハイビジョン(HD)画質のAVCHD対応ディスクを作成できます。

1. **メイン画面で、ディスクに書き込むAVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを選ぶ。**
   AVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録以外のビデオをディスクへ書き込むことはできません。

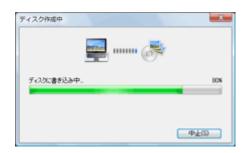
2. **画面上部の [ディスク作成] をクリックして[AVCHD (HD) 作成]を選ぶ。**
   ビデオの選択画面が表示されます。
   ディスクに書き込むビデオを確認してください。

ご注意

- 録画モードが[HD FX]または[HD PS]で撮影されたビデオは変換されます。変換には時間がかかります。

ヒント

- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ビデオの選択画面にドラッグ&ドロップします。
- ビデオの必要な部分だけを選んでディスクに書き込むこともできます。【詳細】
- [撮影日順に並べ替え]をクリックすると、画像が自動的に撮影日順に並び替わります。

3. **[次へ]をクリックする。**
   AVCHDメニューのイメージ画像が表示されます。

ヒント

- [メニュー構成]ドロップダウンリストをクリックすると、ディスクメニューのタイトルの作成方法を選べます。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べます。

4. **メニューを確認し、[作成開始]をクリックする。**
ディスクの作成が始まります。

ご注意

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。
- パソコンのDVDドライブでは書き込みに8cmディスクを使用することはできません。

AVCHD ディスク作成の設定を変更する

ハイビジョン(HD)画質のAVCHD対応ディスク作成のときに、ビデオの選択画面の[設定]をクリックして表示される画面で、AVCHD対応ディスク作成に必要な設定を変更できます。

[全般]	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所、ディスクに書き込むときの速度の設定を行います。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択します。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択します。 ディスクに書き込む速度を変更する場合は、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して書き込むか、書き込む前に毎回指定するかを選び、ラジオボタンをクリックします。初期設定では、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して、その速度で書き込む設定になっています。
[ディスク作成]	再生時の動作や、映像モードなどの設定を行います。 [ディスク再生時の動作]:メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックします。 [ディスクの映像モード]:“ハンディカム”の映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックします。(通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はありません) [シームレスディスクの設定]:チェックをつけると、シーンの切れ目で途切れずに滑らかに再生するディスクを作成します。初期設定ではチェックがついています。シームレスディスクの作成には時間がかかる場合があります。 [オーディオモードの設定]:チェックをつけると、すべての画像の音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成します。この場合、ディスクの作成に時間がかかります。

Blu-ray ディスクを作る

パソコンに取り込んだAVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを選んで、ハイビジョン(HD)画質のブルーレイディスクを作成できます。

ご注意

- ブルーレイディスクを作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
  http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/
- ブルーレイディスクを作成するには書き込み可能なブルーレイディスクドライブが必要です。

1. **メイン画面で、ブルーレイディスクに書き込むAVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のビデオを選ぶ。**
   AVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録以外のビデオをディスクへ書き込むことはできません。

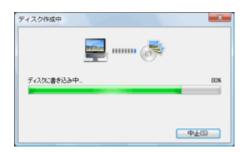
2. **画面上部の [ディスク作成] をクリックして[Blu-ray Disc (HD) 作成]を選ぶ。**
   ビデオの選択画面が表示されます。
   ブルーレイディスクに書き込むビデオを確認してください。

ご注意

- 録画モードが[HD PS]で撮影されたビデオは変換されます。変換には時間がかかります。

ヒント

- ビデオを追加したいときは、メイン画面で追加するビデオを選び、ビデオの選択画面にドラッグ&ドロップします。
- ビデオの必要な部分だけを選んでブルーレイディスクに書き込むこともできます。【詳細】
- [撮影日順に並べ替え]をクリックすると、画像が自動的に撮影日順に並び替わります。
- [設定]をクリックして表示される画面で[シームレスディスクの設定]のチェックを外すと、ディスク作成時に使用する一時領域を少なくすることができます。初期設定ではチェックがついています。

3. **[次へ]をクリックする。**
   作成されるブルーレイディスクのメニューのイメージ画像が表示されます。

ヒント

- [メニュー構成]ドロップダウンリストをクリックすると、ディスクメニューのタイトルの作成方法を選べます。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べます。

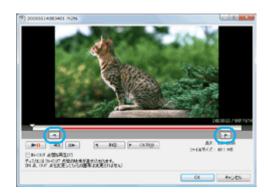
4. **メニューを確認し、[作成開始]をクリックする。**
ブルーレイディスクの作成が始まります。

ご注意

- ブルーレイディスクを作成するには、書き込み可能なブルーレイディスクドライブがパソコンに接続されている必要があります。
- ブルーレイディスクの作成には時間がかかることがあります。
- ブルーレイディスクには追記ができません。

Blu-ray ディスク作成の設定を変更する

ハイビジョン(HD)画質のブルーレイディスク作成のときに、ビデオの選択画面の[設定]をクリックして表示される画面で、ブルーレイディスク作成に必要な設定を変更できます。

[全般]	書き込みに使用するドライブや一時ファイルの保存場所、ディスクに書き込むときの速度の設定を行います。 書き込みに使用するドライブを変更する場合は、ドロップダウンリストから使用するドライブを選択します。 一時ファイルの保存場所を変更する場合は、[参照]をクリックして表示されるフォルダーの参照画面から、フォルダーを選択します。 ディスクに書き込む速度を変更する場合は、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して書き込むか、書き込む前に毎回指定するかを選び、ラジオボタンをクリックします。初期設定では、ドライブとディスクの組み合わせから自動的に最適な速度を判断して、その速度で書き込む設定になっています。
[ディスク作成]	再生時の動作や、映像モードなどの設定を行います。 [ディスク再生時の動作]:メニュー画面を表示するか再生を開始するかを選び、ラジオボタンをクリックします。 [ディスクの映像モード]:“ハンディカム”の映像モードやお住まいの地域のテレビ方式にあわせて選び、ラジオボタンをクリックします。(通常はインストール時に設定されるため、変更する必要はありません) [シームレスディスクの設定]:チェックをつけると、シーンの切れ目で途切れずに滑らかに再生するディスクを作成します。初期設定ではチェックがついています。シームレスディスクの作成には時間がかかる場合や一時フォルダーの容量が大量に必要になることがあります。 [オーディオモードの設定]:チェックをつけると、すべての画像の音声形式を2chステレオに揃えてディスクを作成します。この場合、ディスクの作成に時間がかかります。

ディスクに書き込むビデオを編集する

ディスク作成時に、ビデオの必要な部分だけを選んで書き込めます。

1. **ディスクを作るの手順2のあと、ビデオの選択画面で編集したいビデオをダブルクリックする。**

2. **、 を動かして、IN点とOUT点（書き込みたい部分の最初と最後）を設定する。**

3. **設定が完了したら、[OK]をクリックする。**
   ディスクに書き込む部分が設定されます。

ご注意

- ディスクに書き込む部分を設定しても、元のビデオは変更されません。
- 1秒未満のビデオは編集できない場合があります。

自動補正する

写真の明るさとコントラストを、その画像に適したレベルに合わせて自動的に補正します。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[自動補正]を選ぶ。**
   表示している写真が自動的に補正されます。

3. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

トリミングする

写真の不要な部分を削除できます。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[トリミング]を選ぶ。**
   トリミング画面が表示されます。

3. **8つのハンドルをドラッグして、切り抜きたい範囲を指定する。**
   [縦横比]からトリミング範囲の縦横比を選択できます。
   縦横比に数値を選択したときは、[横]または[縦]を選んで、選択範囲の長方形の向きを変更できます。

4. **[OK]をクリックする。**
   写真の選択範囲外の部分が切り取られます。

5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、編集した写真を元の状態に戻すことができます。

日付を挿入する

写真に、日付表示を入れられます。表示形式、色、位置の指定ができます。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[日付挿入]を選ぶ。**
   日付挿入画面が表示されます。
3. **[表示形式]、[色]、[表示位置]を選び、[OK]をクリックする。**
   日付が挿入されます。
4. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、編集した写真を元の状態に戻すことができます。

赤目補正

写真に写っている人物の目が赤目現象を起こしている場合、赤目の部分を補正できます。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[赤目補正]を選ぶ。**
   赤目補正画面が表示されます。
3. **赤目の部分をクリックする。**
   赤目が補正されます。
4. **補正が完了したら、[OK]をクリックする。**
5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [元に戻す]、[やり直す]をクリックすると、何度でも補正を元に戻したりやり直したりできます。

明るさやコントラストを補正する

写真の明るさやコントラストを補正します。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[明るさ]を選ぶ。**
   明るさを調整する補正コントローラーが表示されます。

3. **補正コントローラーを使って写真の補正をする。**

[暗い部分]	写真の暗い部分を補正します。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。 **ヒント** ● 逆光時に撮影した画像を補正する時などに利用します。
[全体]	写真全体を補正します。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。
[明るい部分]	写真の明るい部分を補正します。スライダーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。
[コントラスト]	写真のコントラストを調整します。スライダーを右にドラッグするほど明暗の差がはっきりし、左にドラッグするほど明暗の差がなくなります。

4. **補正が完了したら、[OK]をクリックする。**
   補正コントローラーが閉じます。

5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

彩度を補正する

写真の彩度を調整します。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[彩度]を選ぶ。**
   彩度を調整する補正コントローラーが表示されます。
3. **補正コントローラーを使って写真の補正をする。**
   [彩度]のスライダーを右にドラッグするほど写真の色が鮮やかに、左にドラッグするほど淡くなります。
4. **補正が完了したら、[OK]をクリックする。**
   補正コントローラーが閉じます。
5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

シャープネスをかける

写真の輪郭を強調します。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[シャープネス]を選ぶ。**
   シャープネスを調整する補正コントローラーが表示されます。

3. **補正コントローラーを使って写真の補正をする。**
   スライダーを右にドラッグするほど写真の輪郭がくっきりします。

4. **補正が完了したら、[OK]をクリックする。**
   補正コントローラーが閉じます。

5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
   補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

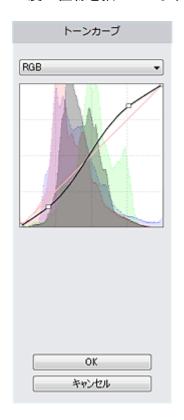
ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

トーンカーブで補正する

チャンネル別の明るさを補正します。

1. **メイン画面で、編集する写真をダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[トーンカーブ]を選ぶ。**
   トーンカーブを編集する補正コントローラーが表示されます。

3. **補正コントローラーを使って写真の補正をする。**
   上部のドロップダウンリストに表示されているチャンネルのヒストグラムとトーンカーブが表示されます。各チャンネルについて、トーンカーブを調整できます。
   横軸は入力画像(元の写真)の明るさ(レベル)、縦軸が出力画像(調整後の写真)の明るさ(レベル)をあらわしています。調整前は、入力画像と出力画像の明るさ(レベル)が同じなので、トーンカーブは左下から右上に45度の直線を描いています。

ドロップダウンリストで調整したいチャンネルを選び、トーンカーブ上の制御点を移動することにより、トーンカーブの形を変え、写真の明るさを調整します。トーンカーブ上にマウスカーソルを合わせ、十字になった状態でクリックすると制御点が追加されます。制御点を左上にドラッグすると明るく、右下にドラッグすると暗くなります。

ヒント

- 制御点はドラッグして移動することができます。ただし、横方向に隣の制御点を越えて移動することはできません。
- 制御点はダブルクリックするかグラフの外へドロップすると、削除できます。

4. **補正が完了したら、[OK]をクリックする。**
補正コントローラーが閉じます。

5. **[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選び、補正した写真を保存する。**
補正前の写真を上書きして保存するときは[上書き保存]を、別に保存するとき[名前を付けて保存]を選びます。

ご注意

- マルチ連写またはRAWモードで撮影した写真、スイングマルチアングルの写真を編集することはできません。
- ボイスメモ付きの写真を編集しても、再生時に表示される画像には反映されません。

ヒント

- [リセット]をクリックすると、補正した写真を元の状態に戻すことができます。

ビデオを編集する

ビデオの必要な部分だけを切り取って、新しいファイルとして保存できます。

1. **メイン画面で、編集するビデオをダブルクリックする。**

2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[動画編集]を選ぶ。**
   ビデオ編集画面が表示されます。

   [活用]メニューから[編集]−[動画編集]の順に選んでも、同じ画面が表示されます。

3. **、を動かして、IN点とOUT点(残したい部分の最初と最後)を設定する。**
   設定したIN点とOUT点の画像がサムネイルで表示されます。

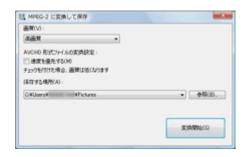
4. **設定が完了したら、[編集した動画を保存]をクリックする。**

5. **[保存]をクリックして、編集したビデオを保存する。**

編集画面のバー上で赤く表示されている部分が保存されます。
編集後のファイルは、元のファイルと違うファイル名で保存されます。

保存には時間がかかります。完了するとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

ご注意

- AVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録の画像の場合は、お使いのパソコン環境によっては保存に10分以上かかることがあります。
- シーンをつなぎ合わせたり、エフェクト(効果)やテキストを入れたりするような編集はできません。
- 1秒未満のビデオは編集できない場合があります。

ヒント

- [静止画で保存]をクリックすると、表示されている画像を写真として保存できます。

ビデオのフォーマットを変換する(MPEG-2)

"ハンディカム"で撮影したAVCHD形式、1080/60p、1080/50p記録のビデオのフォーマットを、いろいろな場合に活用できる、より汎用性の高い形式に変換します。

1. **メイン画面で、変換するビデオを選ぶ。**

2. **[活用]メニューから[変換]—[MPEG-2に変換して保存]の順に選ぶ。**
   [MPEG-2に変換して保存]画面が表示されます。

ヒント

- ビデオの形式がAVCHD形式または1080/60p、1080/50p記録のとき、[速度を優先する]にチェックをつけると、ビデオの変換速度が速くなります。この場合、変換されたビデオの画質は下がります。

3. **保存する場所を指定する。**

4. **[変換開始]ボタンをクリックする。**
   ビデオが変換され、指定した場所に保存されます。

ご注意

- 変換には時間がかかる場合があります。

ビデオのフォーマットを変換する（WMV）

カメラで撮影したビデオのフォーマットを、いろいろな場合に活用できる、より汎用性の高い形式に変換します。WMV方式はビデオデータの圧縮形式の一種で、他の画像形式よりも圧縮率が高くファイルサイズが小さいのが特徴です。主にネットワーク配信などに使われます。

1. **メイン画面で、変換するビデオを選ぶ。**
2. **[活用]メニューから[変換]－[WMVに変換して保存]の順に選ぶ。**
   [WMVに変換して保存]画面が表示されます。

3. **保存する場所を指定する。**
4. **[変換開始]ボタンをクリックする。**
   ビデオが変換され、指定した場所に保存されます。

ビデオを結合する

カメラで撮影したビデオを、運動会や結婚式などのイベントごとにまとめることができます。

1. **メイン画面で、結合したいビデオを選ぶ。**

ご注意

- 結合できるのは、AVCHD形式のビデオ、1080/60p、1080/50p記録のビデオ、MPEG-2形式のビデオのみです。
- AVCHD形式のビデオ、1080/60p、1080/50p記録のビデオ、MPEG-2形式のビデオを混合させて結合することはできません。また、AVCHD形式のビデオ間においても、フレームレートが異なる場合は結合できません。
- 60p形式と50p形式のビデオなど、NTSCとPALの組み合わせでは結合できません。

ヒント

- 結合可能なファイルについては、下記の表をご覧ください。

ビデオ形式			MPEG-2	AVCHD			60p/50p形式
				60i/50i形式		24p/25p形式	
		録画モード	HQ/SP/LP	FX/FH	FX/FH以外	FX/FH	PS
MPEG-2		HQ/SP/LP	○	-	-	-	-
AVCHD	60i/50i形式	FX/FH	-	○	○*	-	-
		FX/FH以外	-	○*	○	-	-
	24p/25p形式	FX/FH	-	-	-	○	-
60p/50p形式		PS	-	-	-	-	○

* 結合後、ビデオのサイズは1920×1080となります。ただし、選んだビデオによっては、1920×1080にならない場合もあります。
変換には時間がかかります。

2. **[活用]メニューから[編集]-[動画結合]の順に選ぶ。**
ビデオの選択画面が表示されます。
結合するビデオと順番を確認してください。

ヒント

- サムネイルをドラッグ&ドロップして、順番を変更できます。

3. [結合]をクリックする。

ビデオが結合されます。
結合されたビデオは、先頭のビデオと同じフォルダーに保存されます。

ご注意

- 再エンコードには時間がかかります。

画像を書き出す

“メモリースティック”などの、光学ディスク以外のメディア（メモリーカード）や、カメラのハードディスク、内蔵メモリーへ画像を書き出せます。

ご注意

- RAW、HDV、DV、MPEG-2形式の画像は書き出せません。

1. **カメラの電源を入れ、USBケーブルでパソコンとつなぐ。**
   電源はACアダプターの使用をおすすめします。ACアダプターがない場合は、十分に充電したバッテリーをご利用ください。
   カメラとパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

   ヒント

   - パソコンにメモリーカードスロットがある場合は、メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入することで、カメラを接続することなく画像を書き出せます。

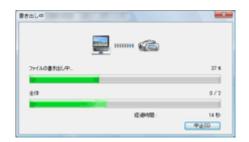
2. **メイン画面で、書き出したい画像を選ぶ。**

3. **[活用]メニューから[画像の書き出し]を選ぶ。**
   お使いの機種によっては、[活用]メニューから[書き出し]−[画像の書き出し]の順に選ぶ。
   [画像の書き出し]画面が表示されます。

   ヒント

   - 書き出し先のドライブが複数ある場合は、[画像の書き出し]画面で選択できます。
   - 写真を書き出すときは、[設定]をクリックして[写真の画像サイズを変更する]にチェックをつけると、書き出す画像のサイズを変更できます。

4. ［書き出し開始］をクリックする。

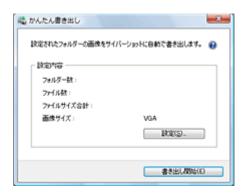
画像の書き出しが始まります。

ご注意

- 画像の書き出し中に、パソコンとカメラの接続状態を解除しないでください。

5. 書き出し完了の画面が出たら、［OK］をクリックする。

ご注意

- ファイルによっては書き出せないことがあります。
- 機器の記録形式に対応したファイル名で書き出します。
- 撮影したカメラ以外への画像の書き出し、また、撮影したカメラ以外での画像の再生は、動作を保証いたしません。
- AVCHD形式のビデオは、一度もAVCHD形式のビデオを記録したことがないメディアには書き出すことができません。

かんたんに画像を書き出す（かんたん書き出し）

アルバムフォトライブラリー対応のサイバーショットのメモリーカードや内蔵メモリーへ写真を書き出せます。

1. **サイバーショットの電源を入れ、USBケーブルでパソコンとつなぐ。**
   電源は充分に充電したバッテリーを使用してください。
   サイバーショットとパソコンのつなぎかたについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

   ご注意
   - 多くの写真を転送すると、バッテリー切れでデータが転送できなかったり、データを破損したりする恐れがあるため、ACアダプター（別売）のご使用をお勧めします。

2. **［活用］メニューから［書き出し］−［かんたん書き出し (PC シンク)］の順に選ぶ。**
   かんたん書き出し画面が表示されます。

   ヒント
   - ［設定］を押すと表示される設定画面で、書き出す写真をフォルダ単位で指定できます。

3. **［書き出し開始］をクリックする。**
   書き出しが始まります。

ご注意
- ビデオはかんたん書き出しできません。

かんたん書き出しの設定を変更する

カメラに写真を書き出すための設定を変更できます。

全般

［書き出し時の動作］	［書き出していない画像だけを書き出す］	まだ書き出していない写真のみ書き出したいときに選びます。
	［すでに書き出した画像を削除してからすべての画像を書き出す］	書き出し済みの写真をカメラから削除して、すべての写真を書き出したいときに選びます。

書き出し対象

［書き出し対象］	書き出したい対象フォルダーにチェックをつけます。

画像サイズ

［静止画のサイズを変更する］	［VGA］	カメラでたくさんの写真を見たいときに選びます。
	［HDTV］	ハイビジョンテレビで写真を見るときに選びます。
	［出力サイズに合わせて画像の一部をカットする］	書き出し時に写真の一部をカットしてもいい場合に選びます。

メッセージ

［メッセージの非表示をリセット］	非表示にしたメッセージを元に戻したいときは［リセット］をクリックします。

再生画面から静止画を切り出す

再生中のビデオの気に入った場面を静止画として保存できます。

1. **メイン画面で、静止画を切り出したいビデオをダブルクリックする。**
2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[静止画で保存]を選ぶ。**

3. **静止画として保存したいシーンで、▶II をクリックする。**
4. **[保存]をクリックする。**
   静止画が保存されます。

ヒント

- 切り出した静止画は元のビデオと同じフォルダーに保存されます。
- 指定したシーンの画像に、前後のビデオから情報を補間することで高解像度化します。高解像度化の効果はシーンによって異なります。

写真を印刷する

写真を選んで印刷できます。写真に日付を挿入して印刷することもできます。

ご注意

- ビデオは印刷できません。あらかじめ静止画に切り出してから印刷してください。
- RAWデータは印刷できません。あらかじめJPEGに現像を行ってから印刷してください。

1. メイン画面で、印刷したい写真を選ぶ。

ヒント

- プレビュー表示でも印刷できます。

2. 画面上部の 印刷 をクリックする。

印刷画面が表示されます。

3. 使用するプリンターや用紙サイズ、印刷オプションを設定する。

ヒント

- 日付を入れて印刷するには、[日付印刷]にチェックをつけます。
- [写真の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷]にチェックをつけると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。
- プリンターによっては、ふちなし印刷やExif Printの適用が選べます。

4. [印刷]をクリックする。

印刷が始まります。

ヒント

- プリンタードライバーの設定で、ICMがONになっていれば、自動でカラーマネージメント印刷されます。

スイングマルチアングルをPMB上で再生する

スイングマルチアングルの写真を立体的な画像として見ることができます。

ご注意

- スイングマルチアングルは対応しているカメラでのみ撮影できます。

1. **メイン画面で、表示したいスイングマルチアングルをダブルクリックする。**

   ヒント

   - スイングマルチアングルは、サムネイルに が表示されます。

2. **画像を左右にドラッグする。**
   ドラッグ操作に合わせて、画像の表示が切り替わります。

気に入った画像を静止画として保存する

1. **上記の手順2で、保存したい画像を表示する。**
2. **画面右下の[編集パレットを開く]をクリックして編集パレットを開き、[この画像を切り出す]を選ぶ。**
   [名前を付けて保存]画面が表示されます。
3. **ファイル名を変更して、[保存]をクリックする。**
   表示されている画像がJPEGファイルとして保存されます。

スイングマルチアングル/連写画像/ビデオを変換する

スイングマルチアングル、連写グループ、ビデオをHTMLまたはアニメーションGIF形式に変換できます。

ご注意

- スイングマルチアングルは対応しているカメラでのみ撮影できます。
- 2秒未満のビデオは変換できません。

1. **メイン画面で、変換したいスイングマルチアングル、連写グループ、またはビデオを選ぶ。**
2. **[活用]メニューから[変換]−[HTML/アニメーション GIF 形式に変換]を選ぶ。**
   変換の設定画面が表示されます。

3. **[変換形式]、[サイズ(幅)]を設定する。**

   ヒント
   - [タイトル]を変更することで、HTMLのタイトルや出力ファイル/フォルダー名を変更できます。

4. **[変換後の処理方法]で[添付ファイルとして電子メールで送信]または[デスクトップに保存]を選ぶ。**

   ヒント
   - [添付ファイルとして電子メールで送信]を選んだ場合は、自動的にZIP形式で圧縮されます。

5. **[変換]をクリックする。**
   画像が変換され、[変換後の処理方法]で選んだ処理が行われます。

プログラムで開く

パソコンにインストールされている他のプログラムを呼び出して、画像を活用できます。

1. **メイン画面で、画像を選ぶ。**
2. **画面上部の をクリックして、画像を開くプログラムを選ぶ。**
   プログラムで画像が開きます。

プログラムを登録する

メイン画面上部の をクリックして[プログラムの登録]を選ぶと、 に登録されているプログラムの一覧が表示されます。

- [追加]をクリックすると、プログラム一覧にプログラムを追加できます。
- プログラムを選んで[編集]をクリックすると、選択中のプログラムの登録を変更できます。
- プログラムを選んで[削除]をクリックすると、選択中のプログラムを一覧から削除できます。
- プログラムを選んで[上へ]をクリックすると、選択中のプログラムの順序が一つ上がります。
- プログラムを選んで[下へ]をクリックすると、選択中のプログラムの順序が一つ下がります。

ネットワークサービスにアップロードする

お使いのネットワークサービスに、画像を簡単にアップロードできます。

1. **メイン画面で、アップロードしたい画像を選ぶ。**
2. **画面上部の をクリックして、使いたいネットワークサービスを選ぶ。**
3. **表示されるネットワークサービスの画面にしたがって、画像をアップロードする。**

ご注意

- 事前に、各ネットワークサービスのウェブサイトでアカウントを作成しておく必要があります。
- ネットワークサービスによって画面の表示や機能は異なります。
- ネットワークサービスによってアップロードできる画像の種類（ビデオ/写真）は異なります。
- ログイン情報にネットワークサービスのウェブサイトで取得したアカウント、パスワードを入力する必要があります。保存している場合は入力する必要はありません。

ヒント

- サイズ上限を超えるときは圧縮変換してアップロードすることができます。
- ネットワークサービスによっては、ハイビジョン（HD）画質のビデオをアップロードできない場合があります。

電子メールで送る

メール送信用ソフトウェアを起動し、ビデオや写真をメールに添付して送れます。

1. **メイン画面で、添付する画像を選ぶ。**

2. **画面上部の をクリックする。**
   [メールで送る]画面が表示されます。
   [活用]メニューから[添付ファイルで送る]を選んでも、同じ画面が表示されます。

3. **画像の設定をする。**
   メールで送る画像のサイズや画像形式を変更します。元の画像は変更されません。

写真

[JPEG 小 (320 X 320)]	添付する画像サイズを、320×320ピクセル以下にします。
[JPEG 中 (640 X 640)]	添付する画像サイズを、640×640ピクセル以下にします。
[JPEG 大 (1280 X 1280)]	添付する画像サイズを、1,280×1,280ピクセル以下にします。
[ユーザー設定 (JPEG 形式)]	[変換設定]で設定したサイズに変更します。[変換設定]では、変更するサイズを直接入力したり、元画像に対する比率を指定したりできます。また、画像圧縮時の画質レベルを変えることもできます。

ビデオ

[変換しない]	撮影した画像形式のままメールに添付します。
[WMV 標準画質]	WMV形式の標準画質に変換します。
[WMV 低画質]	WMV形式の低画質に変換します。
[WMV 合計 5 MB 以下]	添付するビデオの画像サイズの合計がWMV形式で5MB以下になるように変換します。合計サイズの設定は変更できます。

ヒント

- WMV方式はビデオデータの圧縮形式の一種で、他の画像形式よりも圧縮率が高くファイルサイズが小さいのが特徴です。主にネットワーク配信になどに使われます。

4. **[OK]をクリックする。**
   電子メールに画像が添付されます。

ご注意

- お使いのメール送信用ソフトウェアでMAPIが有効になっている必要があります。
  MAPIについて詳しくは、メール送信用ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

写真をリサイズして保存する

写真をリサイズして任意のフォルダーにコピーできます。

1. **メイン画面で、リサイズする写真を選ぶ。**
2. **［活用］メニューから［変換］－［リサイズして保存］の順に選ぶ。**
   ［リサイズして保存］画面が表示されます。
3. **［リサイズして保存］画面で、保存先や画像サイズ、ファイル名などを変更する。**
4. **［保存］をクリックする。**

ご注意

- ビデオ、RAWデータはリサイズできません。

ヒント

- サイズを変更せずに、PMBに登録されていないフォルダーに写真をコピーするには、PMBのメイン画面からコピー先のフォルダーに写真をドラッグ&ドロップします。

撮影した日付を変更する

選択中の画像の撮影日を一括で変更できます。撮影時間の変更もできます。

1. **メイン画面で、撮影日を変更する画像を選ぶ。**
2. **[編集]メニューから[撮影日時の一括変更]を選ぶ。**
   [撮影日時の一括変更]画面が表示されます。
3. **撮影日時を変更する。**
   以下の2通りの方法で変更できます。画面左側の表示で変更内容を確認できます。

[選択中の画像を基点にすべての画像の日時をずらす]	選択した画像から1つの画像の変更後の日時を指定することで、他の画像の撮影日時も同じだけずらして変更できます。
[時間を指定して日時をずらす]	メイン画面で選んだ画像に対し、どれだけ時間、分、秒を進めるまたは戻すかを指定します。

4. **[OK]をクリックする。**
   撮影日時が変更されます。

選んだ画像の日付を変更する

1. **メイン画面で、撮影日時を変更する画像を選ぶ。**
2. **画面左下の をクリックする。**
   選んだ画像のプロパティー画面が表示されます。
3. **[撮影日時]の値をクリックし、撮影日時を変更する。**
   撮影日は、 をクリックして表示されるカレンダーから選びます。
   撮影時間は、クリックして表示されるスピンボックスに入力するか、 または をクリックして指定します。
4. **「Enter」キーを押すか、スピンボックス以外の部分をクリックする。**
   撮影日時が変更されます。

ご注意

- カレンダービューで撮影日時の変更を行った場合、表示がすぐに反映されない場合があります。すぐに反映するときは、「F5」キーを押してください。

ヒント

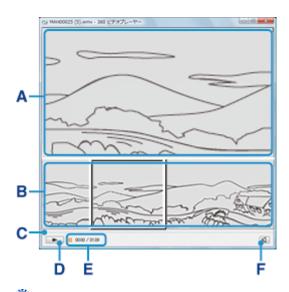
- 一部のRAWデータは撮影日時を変更できない場合があります。

360ビデオを作る

周囲360度の範囲を撮影した画像を変換して、360ビデオを作成/再生できます。

1. **メイン画面で、変換したい画像を選ぶ。**

2. **[活用]メニューから[変換]−[360 ビデオコンバートツール]の順に選ぶ。**
   確認画面が表示され、変換結果のプレビューが表示されます。

ヒント

- [設定]をクリックすると、変換する範囲、出力するビデオの画質、上下反転の設定を変更できます。範囲の設定は、撮影画像に合うように選択してください。
- 変換後の画像が歪んでいる場合は、中心位置がずれている可能性があります。その場合は中心位置を補正してみてください。

3. **[変換開始]をクリックする。**
   画像の変換が始まります。
   変換後のファイルは、別の名前で変換元のファイルと同じフォルダーに保存されます。

4. **[変換した画像を360 ビデオプレーヤーで再生する]にチェックをつけ、[OK]をクリックする。**
   360 ビデオプレーヤーの画面が表示され、画像の再生が始まります。

ヒント

- 変換された画像は、メイン画面の[活用]メニューから[プログラムから開く]─[360 ビデオプレーヤー]の順に選んでも再生できます。

A	**画像表示エリア**	画像を表示/再生します。エリア内をドラッグすると、視点を移動できます。
B	**展開画像表示**	展開された画像の全体を表示します。白い枠をドラッグして、表示/再生する位置を指定できます。
C	**スライダー(ビデオ再生時のみ)**	再生位置を移動できます。
D	**再生/一時停止ボタン(ビデオ再生時のみ)**	► をクリックするとビデオを再生します。再度クリックすると一時停止状態となります。
E	**再生時間表示(ビデオ再生時のみ)**	再生中のビデオの経過時間/総時間が表示されます。
F	**音量調節ボタン(ビデオ再生時のみ)**	をクリックすると、音量調節スライダーが表示され、音量を調節できます。[消音]にチェックをつけると、消音します。

よくある質問

- [画像の取り込みについて]
- [画像の閲覧について]
- [画像の編集について]
- [画像の活用について]
- [その他]

画像の取り込みについて

Q.　自動的に行われる「画像解析」とは何ですか？

A.　カメラで撮影した画像をパソコンに取り込んだあとに画像の解析を行うことで、「顔検索」機能や「展開表示」機能を利用できるようになります。
顔検索では、写真やビデオの中から同じ顔を含む画像を検索することができます。
展開表示では、撮影したビデオの撮影時間をもとに、動画のサムネイルを分割表示できます。

なお、初期設定では、カメラで撮影した画像をPMBを使用してパソコンに取り込んだあと、自動的に解析が行われるようになっています。自動解析を止めたい場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1 [ツール]メニューから[設定]を選ぶ。

2 [画像解析]を選び、[画像解析のタイミング]の[画像の取り込み後に解析を開始しない]チェックボックスにチェックをつける。

ヒント

- 未解析の画像を解析したい場合は、[ツール]メニューから[未解析の画像をすべて解析]を選んでください。

Q.　以前取り込んだ画像が何度も取り込まれてしまいます。

A.　取り込み設定で[取り込み方法]の[すべての画像を取り込む]にチェックがついている場合、カメラを接続したときに、記録されている画像はすべて取り込まれます。
[まだ取り込んでいない画像のみ取り込む]または[画像を選択して取り込む]にチェックをつけてください。

取り込み設定画面は、以下の2つの方法で表示できます。

- カメラを接続したときに表示される画像の取り込み画面で、[取り込み設定]の[変更]をクリックする。
- [ツール]メニューから[設定]−[取り込み]の順に選ぶ。

Q.　PMBを使って、撮影した画像を外付けハードディスクドライブに取り込むことはできますか？

A.　できます。
[ツール]メニューから[設定]−[取り込み]の順に選び、[取り込み先]をパソコンに認識されている外付けハードディスクのドライブに設定してください。
取り込み先フォルダーの変更方法は、こちらをご覧ください。

Q.　"ハンディカム"に記録した画像をPMBに取り込めません。

A.　お使いの"ハンディカム"の機種によっては、パソコンに画像を取り込むときに、USB接続の選択が必要となる場合がります。
USB接続したときに、"ハンディカム"本体に表示される[USB機能選択]画面で、取り込みたい画像が入っている記録メディアを選択してください。
接続方法については、"ハンディカム"に付属の取扱説明書をご覧ください。

Q.　ビデオをパソコンに取り込むと、分割されたビデオファイルがあります。

A.　ビデオを撮影中にファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されます。
（カメラでは、1つのファイルとして連続で再生されます。）
PMBでビデオを取り込むことで、分割されたファイルを結合できます。

ご注意

- ファイルを結合できるのは、ご使用のパソコンのファイルシステムがNTFSまたはexFATの場合です。ファイルシステムがFAT32の場合は、結合されません。ファイルシステムは、取り込み先ドライブのプロパティで確認出来ます。ファイルシステムの変更方法はご使用のパソコンのメーカーにご確認ください。
（ファイルシステム変更時には、既存のデータが消失する危険がありますので、データのバックアップ等が必要になります。）
- 分割されたファイルを市販の編集ソフトで取り込むと、音声が途切れることがあります。市販の編集ソフトをご利用になる場合でも、パソコンへのファイルの取り込みにはPMBをお使いください。

画像の閲覧について

Q.　パソコンに保存した画像をPMBで閲覧できません。

A.　PMBを使用せずにパソコンに保存した画像をPMBで閲覧したい場合は、画像が入っているフォルダーをPMBに登録する必要があります。
フォルダーを登録すると、登録したフォルダーとそのサブフォルダーすべてに入っている画像をPMBで管理できるようになります。
フォルダーの登録方法については、こちらをご覧ください。

Q.　外付けハードディスクに保存した画像をPMBで閲覧できません。

A.　PMBで画像を閲覧したい場合は、画像が入っているフォルダーをPMBに登録する必要があります。
[ファイル]メニューから[フォルダーの登録]を選び、表示された画面でパソコンに認識されている外付けハードディスクのドライブを選んでください。
フォルダーを登録すると、フォルダー内の画像がデータベースに登録されます。
フォルダーの登録方法については、こちらをご覧ください。

Q.　フォルダー名、ファイル名は変更できますか？

A.　できます。
フォルダー名を変更するには、変更したいフォルダーを右クリックして[フォルダー名の変更]を選びます。
ファイル名を変更するには、変更したいファイルを右クリックして[ファイル名の変更]を選びます。

Q.　マップビューとは何ですか？

A.　位置情報を持つ画像の撮影位置をオンライン地図上に表示する機能です。
また、位置情報を持たない画像でも、地図上で位置情報を決定し、保存することができます。
（地図は、Google Inc.によって提供されています。）

ヒント

- GPS機能搭載のカメラおよび別売のGPSユニットキットをご利用になると、撮影時に位置情報を付けることができます。

操作方法について詳しくは、こちらをご覧ください。

画像の編集について

Q.　どのような編集や調整ができますか？

A.　写真、ビデオに対して、以下の編集や調整ができます。

写真：

- 日付の挿入
- 明るさ/コントラストの自動調整
- トリミング/リサイズ
- 赤目補正
- 彩度の調整
- シャープネスの調整
- トーンカーブでの明るさ補正

ビデオ：

- AVCHD形式のビデオ、1080/60p、1080/50p記録のビデオおよびMPEG-2形式のビデオの不要部分のカット、結合

  ご注意

  - シーンの変わり目にエフェクト（効果）を入れるような編集はできません。
- 静止画の切り出し
- フォーマットの変更（WMV等に変換）

ご注意

- お使いのカメラによって編集できる内容は異なります。お使いの機種によっては、これらの編集内容に対応していない場合があります。

Q.　複数の写真に一度に日付を挿入できますか？

A.　PMB上で写真に日付を挿入して保存したい場合は、1枚ずつの操作となり、複数の写真を一度に加工することはできません。
写真に日付を入れる方法については、こちらをご覧ください。
お、日付を入れて印刷したい場合は、複数の写真を選択して、一度に日付を入れて印刷することができます。
操作方法については、こちらをご覧ください。

Q.　PMBでビデオを結合することはできますか？

A.　PMBではAVCHD形式のビデオ、1080/60p、1080/50p記録のビデオおよびMPEG-2形式のビデオをそれぞれ結合できます。
その他の記録方式のビデオは結合できません。
AVCHD形式、1080/60p、1080/50p記録、MPEG-2形式以外の記録方式のビデオを結合するには、市販の編集ソフトが必要になります。

PMBで結合可能なファイルの組み合わせについては、こちらをご覧ください。

画像の活用について

Q.　PMBで取り込んだ画像を外付けハードディスクにコピー（バックアップ）できますか？

A.　できます。
画像ファイル個別にではなく、フォルダーごとに、外付けハードディスクへコピーしてください。

ご注意

- フォルダー内のファイルを個別に選んでバックアップを行うと、正しいファイル情報が復元されない場合があります。データをバックアップする際は、必ずフォルダー単位でコピーしてください。

1 メイン画面で、[ツール]メニューから[設定]を選ぶ。
設定画面が表示されます。

2 [フォルダーの登録]を選び、登録されているフォルダーを確認する。
チェックがついているフォルダーが登録されているフォルダーです。

3 [キャンセル]をクリックして、設定画面を閉じる。

4 手順2で確認したフォルダーをエクスプローラーで表示し、フォルダーごと外付けハードディスクにドラッグ&ドロップする。

ヒント

- 同じドライブ内にある別のフォルダーにドラッグ＆ドロップすると「コピー」ではなく「移動」の操作になります。
元のフォルダーを残したままバックアップ（コピー）をするには、キーボードのCtrlキーを押したままドラッグ＆ドロップを行ってください。
その他のコピーや移動の手順はWindowsの操作手順をご確認ください。

その他

Q.　取扱説明書はありますか？

A.　PMBの取扱説明書はありません。
PMBの［ヘルプ］メニューからご覧いただける「PMB ヘルプ」、「PMB オンラインヘルプ」で、使用方法を説明しています。

フォルダーを登録・解除する

1. **メイン画面で、[ファイル]メニューから[フォルダーの登録]を選ぶ。**
   フォルダーの登録画面が表示されます。

2. **フォルダーツリーから閲覧する画像の入っているフォルダーを選び、チェックをつける。**

3. **[OK]をクリックする。**
   画像情報のデータベースへの登録が始まります。

画像の登録情報を最新の状態にする

登録されているフォルダーにある画像やフォルダーの名前を変えると、PMBで画像を表示できなくなります。その場合は、以下の操作でデータベースの更新を行ってください。

1. **メイン画面で、[ツール]メニューから[データベースの再構築]を選ぶ。**
   データベースが更新されます。

   ご注意

   - データベースの更新には時間がかかる場合があります。

設定を変更する

メイン画面の[ツール]メニューから[設定]を選び、表示される設定画面で全般的な設定ができます。設定画面では、以下の設定ができます。

[取り込み]	機器を接続したときに、PMBで取り込みを行うかどうかを設定できます。また、画像の取り込み方法、取り込み後の動作、取り込み先のフォルダーを設定できます。
[フォルダーの登録]	閲覧する画像が含まれているフォルダーを登録します。 **ご注意** ● 画像の取り込み先に設定したフォルダーは、登録を解除することはできません。
[画像解析]	取り込み後の画像解析の動作について選択できます。
[画像の表示]	[サムネイル下の情報表示]:サムネイルの下に表示する情報を選べます。 [展開したビデオサムネイルの間隔]:ビデオを展開表示したときのサムネイルの表示間隔を設定できます。 [カレンダービュー]:週の初めに設定する曜日をべます。日表示のとき、画像のない時間帯を表示しないように設定できます。 [インデックスビュー]:詳細表示で表示する項目を選べます。初期設定ではすべてにチェックがついているので、表示したくない項目をクリックしてチェックを外します。
[ネットワークサービスの登録]	ネットワークサービスの登録/解除ができます。
[プログラムの登録]	外部プログラムの登録/解除ができます。
[その他]	[メッセージの非表示をリセット]:[リセット]をクリックすると、操作中に表示されたメッセージダイアログボックスで[次回からこのメッセージを表示しない]チェックボックスにチェックをつけたメッセージが、すべて表示されるようになります。 [ソフトウェアの自動更新]:チェックをつけると、PMBの起動時にソフトウェアの更新を自動で確認できます。
[高度な設定]	[一時ファイルの保存先]:一時ファイルの保存先を変更できます。 [カスタムプロパティの保存先]:ラベル名や日付タイトルなどの画像以外のデータの保存先が確認できます。 [ハードウェアアクセラレーションの設定]:利用するハードウェアアクセラレーションの種類を自動的に設定することで、CPUの負荷を抑えることができます。ビデオの再生や編集、ディスク

	作成などで問題が発生する場合は、[自動設定の結果を有効にする]を選んで[自動設定]をクリックするか、[ハードウェアアクセラレーションを無効にする]を選んでください。 1080/60p、1080/50p記録のビデオでハードウェアアクセラレーションを有効にする場合は、[[HD PS]のビデオで、デコードのハードウェアアクセラレーションを有効にする]を選んでください。
［PMB Portable］	PMB Portableに対応した機器を接続したときの動作を設定できます。

GPSサポートツールについて

GPSサポートツールは、カメラがパソコンに接続されると、カメラに保存されているGPSアシストデータを自動的に更新します。GPSアシストデータを最新のデータに更新しておくことで、GPSが測位するまでの時間を短縮できます。

GPSサポートツールを使用するときは

カメラをパソコンにつなぐと、パソコンの画面右下に[GPS アシストデータを更新します]のメッセージが表示され、自動的にデータの更新が始まります。メッセージをダブルクリックすると、データの詳細を確認できます。

GPSサポートツールは、PMB ランチャーから起動することもできます。[スタート]-[すべてのプログラム]-[PMB]-[PMB ランチャー]の順に選んでPMB ランチャーを起動し、[GPS]を選んで[GPS サポートツール]をクリックします。

ご注意

- カメラを約1か月以上パソコンに接続していない場合は、GPSアシストデータが更新されていないために、GPSが測位するまでの時間を短縮できなくなる場合があります。

設定初期化ツールについて

設定初期化ツールは、PMBを使用中に自動的に保存されるいくつかの設定値をクリアして、インストール直後の初期設定の状態に戻すためのツールです。

1. **[スタート]－[すべてのプログラム]－[PMB]－[PMB ランチャー]の順に選ぶ。**
   [PMB ランチャー]画面が表示されます。

2. **[ツール]を選び、[PMB設定初期化ツール]をクリックする。**

3. **初期化する設定を選び、[実行]－[はい]－[OK]の順にクリックする。**

アンインストールする

以下の方法でPMBをアンインストールできます。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］の順に選び、［プログラムのアンインストール］をダブルクリックする（Windows XPの場合は［プログラムの追加と削除］、Windows 7の場合は［プログラムと機能］をクリックする）。
2. ［PMB］を選び、［アンインストール］（Windows XPの場合は［削除］）をクリックする。

USBケーブルをパソコンから取りはずす

下記の手順に従ってUSBケーブルを取り外してください。

1. パソコン画面の右下にある通知領域の中の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

2. [USB大容量記憶装置を安全に取り外します](Windows XPの場合は[USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します])をクリックする。

3. USBケーブルをパソコンから抜く。
   お使いの機種によっては、カメラの画面上で[終了]−[はい]をタッチしてから、USBケーブルを抜く。

Windows 7のときは

1. パソコン画面の右下にある通知領域の中の をクリックして、 をクリックする。
2. [<デバイス名>の取り出し]をクリックする。
3. USBケーブルをパソコンから抜く。
   お使いの機種によっては、カメラの画面上で[終了]−[はい]をタッチしてから、USBケーブルを抜く。

ご注意

- カメラのアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- カメラの電源を切るときは、上記の手順に従ってUSBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
- 正しい手順でUSBケーブルを抜かないと、カメラのメディア内のファイルが正しく更新されない場合があります。また、メディアの故障の原因になります。

商標・著作権について

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “サイバーショット”、Cyber-shotはソニー株式会社の商標です。
- αはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは、商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “HDV”および“HDV”ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティック　マイクロ”、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINK、iはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media Player、DirectX、Device StageはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- GoogleはGoogle Inc.の登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

著作権についてのご注意

あなたが撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

あなたがCDやネットワーク等から入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用等の範囲を超えて使用（複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信することまたは送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版等を含む）することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによるPMBの提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。